

蓮田市長 中 野 和 信 様

蓮田市社会資本整備総合交付金（都市
再生整備計画事業）評価委員会
会 長 奥 沢 信 男

社会資本整備総合交付金の事後評価について（答申）

平成26年1月27日付け都計第301号で諮問のあったことについては、下記のとおりです。

記

審議事項		委員会の意見
(1)事後評価 手続及び 都市再生整 備計画の目 標の達成状 況の確認等 の結果につ いて	成果の評価	妥当である。 ・設定した3つの指標とも目標値を達成している。 ・指標 1(駅周辺バリアフリー環境に対する不満度),3(駅周辺の交通安全に対する不安度)については、住民アンケートを行い、その結果を市広報誌にて公表しており、本事業の効果を広く市民に公表していることは、非常に好ましい。 ・駅のバリアフリー化や耐震性防火水槽の整備など、地域住民にとって、安全で住みやすいまちづくりになった。 ・事業の進捗状況に応じて、柔軟かつ適切に計画変更を行ったことは評価できる。
	実施過程の評価	妥当である。 まちづくり協議会と連携し持続的なまちづくりについて検討している。
	効果発現要因の整理	目標は達成しており、妥当である。
	事後評価原案の公表の妥当性	妥当である。 ・事後評価原案が広報、インターネット、公共公益施設等を通じて公表された。(意見については寄せられなかった。何らかの工夫が欲しい。)
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価手続きは妥当であることが確認された。
(2)今後のまちづくり等の内容の妥当性について	今後のまちづくり 方策の作成	妥当である。 ・駅を中心に、コンパクトで安心安全なまちづくりが展開されるよう、引き続き公共公益施設の集約化を検討する必要がある。 ・駅周辺のまちづくりについて、まちづくり協議会を活用し、

		<p>エリアマネジメントについても検討することが望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者や自転車が安全に通行できるルールづくり及び教育にも力を入れること。 ・各公共公益施設を結ぶ歩行系道路の整備が必要である。 ・関連事業である再開発事業の促進を図ること。 ・駅周辺に公共公益施設、保育園、託児施設、ショッピング、駐車場、住宅等を集約し、子育てしやすいコンパクトシティを推進して欲しい。 ・中心市街地に公共公益施設等のリノベーション(再構築)を図ることにより拠点性を高め、人口定着に努めること。 ・バリアフリーやユニバーサルデザイン等に配慮し、高齢者にも住み良い街づくりや回遊性の向上に努めること。 ・災害に強いまちづくりに努めること。 ・就労、子育て、遊び、生活交通ができる住環境の整備が必要である。 ・今後の中心市街地整備は、公共公益の既存ストックだけでなく、民間の既存ストックも活用すべきである。 ・安心安全のため、駅西口に交番の設置が必要である。
	その他	<p>交付金を積極的に活用し、リノベーションやコンパクトシティへのまちづくりを推進してほしい。</p>
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	<p>妥当である。 本事業により整備された基盤を中心に持続的な街づくりの展開が記載されている。</p>
(3)その他		<ul style="list-style-type: none"> ・民間のバス網が発達しているので、このバス網を有効に活用して総合的な施策を展開するべきである。 ・高速道路や鉄道駅などのアクセスポイントの優位性をまちづくりに活かすこと。 ・中心市街地と郊外とのネットワークを図ること。 ・市内に残る文化財や貴重な緑地などの保全・活用を図ること。 ・スポーツ施設や文化活動施設を集約して配置して欲しい。 ・ゴミを再生資源にする視点をまちづくりに取り入れて欲しい。